



3月11日の東日本大震災は、私たちの生活や活動に様々な影響を及ぼしました。皆さんはいかがでしたでしょうか？4月当初からは通常の活動をできるようになりました。今年度前半の活動につきまして、ご報告します。

## 筑波山自然インストラクター養成事業

活動場所: 筑波山・豊里ゆかりの森・筑波ふれあいの里

筑波山が環境教育の拠点になることをめざし、現地や事前学習で使える教材・展示パネルの作成、筑波山での教育活動を担う人材育成に取り組んでいます。プロジェクト3年目の今年、インストラクターなど指導者向けの環境教育マニュアル作成も進めています。今年度は震災の影響で5～6月の学校ガイドは全くできませんでしたが、秋にはガイドの依頼も受けています。一時は閉鎖された筑波山の登山道も全面開通し、筑波山に賑わいももどってきました。筑波山自然インストラクター養成講座、登録インストラクターへのステップアップ研修、「筑波山の自然展」などを行いました。【地球環境基金助成事業】

### ・筑波山自然インストラクター養成講座

3年目の講座になる今年度は25名の応募があり、すでに5回の講座を実施、10月の筑波山自然展でインストラクター実習を行いました。筑波山の地形・地質、生い立ち、植物、昆虫、救急救命法などを学び、筑波山の自然への理解を深めました。

### ・ステップアップ研修

登録インストラクターを対象に4回の研修を実施しました。5月には先進地である高尾山で研修、プロのガイドも体験しました。



インストラクター養成講座(昆虫観察)



筑波山でのステップアップ研修

### ・筑波山の自然展

ケーブルカー山頂駅2階の休憩所を会場として10/4～10の7日間、つくば市ならびに茨城県自然博物館との共催で開催しました。筑波山の自然解説パネル、博物館が所蔵する筑波山の岩石・植物・動物・昆虫の標本、筑波山ブナ毎木調査とその結果についてなどを展示しました。博物館企画展「恐竜発掘」のポスター展示やチラシ配布、筑波山麓で開催される筑波山麓秋祭りなどの広報活動も行ないました。昨年を上回るのべ1089名の来場があり、インストラクター・受講生(研修)のべ62名が交代で、展示解説や筑波山クイズ(800名参加)、筑波山自然入門ガイド(33名参加)などを実施しました。



山頂駅2階で筑波山の自然展を開催



来訪者でにぎわう会場



筑波山自然入門ガイド

10/1には筑波山の歴史の講演と山麓ウォーキングのブレ企画を行ないました。



## 筑波山ファンクラブ

活動場所: 筑波山・雨巻山・加波山他

震災の影響で筑波山へは入山できない時期が続きましたが、これまで観察していなかった山麓や筑波山系の山などで観察や調査を行ない、新たな発見がありました。

4/17 真壁・羽鳥道、4/30 八溝山(特別研修)、5/5 八郷・薬師古道  
6/19 筑波山自然研究路、7/17 雨巻山、9/4 加波山、10/9 筑波山ブナ結実調査



八溝山での観察会↑  
自然研究路の落石とハクウンボクの花→



## 筑波山麓自然学校

活動場所: 筑波ふれあいの里(つくば市委託事業)

筑波山の東山麓にある筑波ふれあいの里で、7/16「夏の虫・むし探検隊」、7/24「昆虫ナイトウォッチング」、7/30「沢の生きもの観察会」、8/7「昆虫ナイトウォッチング2」、8/28「葉っぱでプリントエコバッグ」を実施しました。たくさん子どもたちや親子が生きものに出会い、夏の自然を満喫しました。



葉っぱでプリントエコバッグづくり



夏の虫・むし探検隊



沢の生きもの観察会

## ter 筑波山麓谷津田再生事業

活動場所: つくば市神郡

「生きものと共存する米づくり」も6年目、田植え・稲刈りにはそれぞれ100名近い参加者があり、今年も盛況に行なうことができました。米づくりボランティア20名が作業日に集い、草取りやイノシシ柵設置等の作業を担いました。苦勞の甲斐あって無農薬でコシヒカリ1401kg、黒米20kgを収穫しました。(稲わら・もみの放射線量調査: 不検出)



←田植え(5/15) ↑稲刈り(9/19)



田んぼボランティアの草取り↑、草刈り→の様子

## ter 筑波山麓・森づくり活動

活動場所: つくば市神郡



4/16に植樹祭を行いました。ヤマザクラやコナラなどを耕作放棄地に植えました(3/12の予定が、震災で1ヶ月延期)。**【緑の募金助成事業】**

## ter オオムラサキの棲む里山づくり

## 里山子どもワンダーランド作戦

活動場所: つくば市下平塚及び島名

良好な里山の指標である国蝶オオムラサキが棲み続けられる雑木林の保全・再生をめざし、第4土曜日中心に森づくりボランティアを実施。近隣の新しい街区の自治会や筑波大・筑波学院大の学生たちも参加しています。6月には(株)ローソンの皆さんも参加



残された雑木林を子どもたちの活動の場に！今年度より親子での活動にリニューアルして様々に活動しています。森の手入れ、自然観察、ネイチャーゲーム、栗拾いなど楽しく活動しました。

## オオムラサキを教材に環境教育

【エコポイント寄付対象事業】

学区内にオオムラサキの棲む森があった小学校で、オオムラサキ飼育と子どもたちへの環境教育を行なっています



手入れした森ではスミレなど多くの花が観察できます。

オオムラサキの棲む里山づくりのための支援金を募集しています(1口1000円)。支援して下さった方には、オオムラサキピンバッジを差し上げます！



## ter しぜんっこくらぶ in ゆかりの森

活動場所: 豊里ゆかりの森

幼児とお母さんたちが集う自然体験教室。森で生きものと触れ合い、畑での農体験や食を楽しむプログラムなどを実施しています。水、金の2クラスとも今年はまだ空きがあり、途中参加も可能です。



お月見だんごづくり 雨の自然も楽しいね！

## つくば里山楽しみ隊 in 高崎自然の森

しぜんっこの拡大版を実施(つくば市農業課委託)



6/3 初夏の生きもの探検 7/27 夏の生きものマップづくり

## ter 都市農村交流活動

活動場所: つくば市白井・神郡

筑波山麓の魅力を発信し、都市との交流を進めるために、地元の方々と編集委員会をもって、地域情報紙「すそみろく」を、年4回発行しています。地元農家も参加して筑波山麓グリーンツーリズム協議会が発足し、ますます活発化しています。筑波山麓秋祭りで11/5-6「すそみ茶屋」を今年もやります！ぜひお越しください



## ter その他の事業

### 筑波山植生モニタリング調査

標高ごと、地形ごとに筑波山の東西南北の斜面で植物相の調査を実施。昨年までのブナ全木調査と合わせて、筑波山の自然の現状を把握する基礎資料となります。調査には茨城県自然博物館も方々も参加し、約50地点で行ないました。

(独)森林総合研究所委託事業



## 事務局より

11月より東京電力のボランティア支援員として塚原和弘さんが事務局スタッフに加わります。頼もしい助っ人です。活動の折にご紹介いたしますので、どうぞよろしくお願ひいたします。